

<平成29年度 ハローオリピズム事業>

オリンピック教室

実施報告書

横浜国立大学教育学部附属横浜中学校

Olympic
Movement



公益財団法人日本オリンピック委員会



現行の学習指導要領は平成21年（2009）4月に公示され、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが明確化されました。そこには、中学校3年生の保健体育の「体育理論」の学習内容に、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること」とオリンピックの意義が明示されております。

これを受けて日本オリンピック委員会（JOC）では、平成23年度（2011）から、体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施しております。

近代オリンピックの創始者ピエールド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表として実際にオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められております。このようなオリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることも期待しております。

「オリンピック教室」の授業は、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えます。また同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとしております。

平成23年に施行された「スポーツ基本法」の前文の一部に「スポーツは、世界共通の人類の文化であり、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである」との記述があります。生徒のみなさんが「オリンピック教室」で学習する内容は、まさにこの基本法に記された精神や態度等を日常生活の中へ具現化することを後押しするものであると考えています。

平成29年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 平成29年4月～平成30年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 50校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目
運動の時間 (50分)



2時限目
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を受け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます



- 期 日 : 平成29年6月8日 (木)
- 場 所 : 横浜国立大学教育学部附属横浜中学校
- ク ラ ス : 2年A組 (45名)、2年B組 (45名)
- オリンピアン : 山口 美咲 先生 (水泳・競泳)
- 授業のながれ: 運動の時間 (1時限、3時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認

2. 準備体操



・山口先生から自己紹介。運動と座学の流れを確認した後、準備体操に移る。

3. 主運動



・3班に分かれて15人16脚を実施。ゴールまでの時間が最も早かった班の勝利とし、予選、準決勝、決勝戦を行った。
 ・ルールをしっかり守ること、転んだりベルトが取れたらその場で全員止まりやり直すことの2点に注意して取り組んでほしいと伝える。

4. まとめ



・皆が積極的に声を出したり、助け合うことができてよかったと話す。座学の時間のグループワークでは、皆で相談しながら授業を受けてほしいと伝え、授業終了。



■ 授業のながれ： 座学の時間（2時限、4時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・山口先生が出場したリオデジャネイロ大会の映像を見せながら簡単な自己紹介をした後、オリンピックの歴史やクーベルタンについて紹介。
- ・自身の経験から、全力を尽くす、ライバルを尊敬する、自分のルールを作ることが大切だと伝え、グループワークへ移る。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- ・自分の夢や目標を実現するために実践したいオリンピックバリューについて考える。
- ・大学に入って勉強する、自分を超越することを意識して頑張る、目標を周りに言う（エクセレンス）、人を思いやる、周りを見て行動する（フレンドシップ）、相手と認め合う、ルールの中でベストを尽くす（リスペクト）等の意見が挙げられた。

4. まとめ



- ・人生1度きりなのでやりたいことを思い切り頑張ってもらいたい。オリンピックは皆にとって身近なもので、選手以外にも様々な関わり方があるので東京2020大会では、皆もオリンピックに関わってほしいと伝え、授業終了。



- 期 日 : 平成29年6月8日 (木)
- 場 所 : 横浜国立大学教育学部附属横浜中学校
- ク ラ ス : 2年C組 (45名)
- オリンピアン : 伊藤 俊介 先生 (水泳・競泳)
- 授業のながれ : 運動の時間 (5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認

2. 準備体操



・伊藤先生から簡単な自己紹介の後、肩甲骨周りのストレッチ等準備体操を行い、オリンピックバリューについて簡単に触れる。

3. 主運動



・3班に分かれて8の字跳びを実施。1回でもいいから自分たちの記録を更新してほしいと伝える。
 ・伊藤先生より何事も平常心で行うことがスポーツ大会や学校のテストでも役に立つとアドバイス。

4. まとめ



・座学の時間では、自身の経験談を話すと説明し、運動の時間に出た意見を意識して授業を受けてほしいと伝え、授業終了。



■ 授業のながれ： 座学の時間（6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



・伊藤先生がアトランタ大会に出場した時のピンバッジ、サインTシャツ、選手村に入るためのADカード、記念品、ディプロマ（賞状）を見せた後、自身の経験をもとにオリンピックバリューについて説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



・合唱コンクールで良い成績を出すためにそれぞれが取り組むべきことを考える。
 ・1人1人が課題に向き合う、練習から本気で取り組む（エクセレンス）、仲間と団結する、円陣を組む（フレンドシップ）、敬意を払い尊敬し合う、アドバイスをし合う（リスペクト）等の意見があげられた。

4. まとめ



・結果だけが全てではなく、それまでの過程が1番大事であり、楽しく努力することも大切で、楽しむことで努力してきたことが本当の意味で力になると話す。
 ・オリンピックは選手だけのものではなく、観客やボランティアなど様々な関わり方がある。東京2020大会では皆も何らかの形で関わってほしい。これからも楽しみながら頑張ってほしいと伝え、授業終了。



■ 集 合 写 真

2年A組



2年B組





■ 集合写真

2年C組



■ 記念品贈呈

2年A組



2年B組



2年C組



■ 証明書贈呈

